ユーザーズガイド

E2250V
E2350V
E2750V

本製品をご使用になる前に、必ず『使用上の注意』をお読みください。ユーザーズガイド(CD)は、いつでも参照できる場所に保管してください。

製品に添付されているラベルの記載を確認し、サービスを受ける際には記載内容を販売店にご提示ください。

LG

本製品は、お客様の安全を第一に考えて設計し製造されておりますが、間違った使い方をすると感電したり火災を発生させる危険性があります。
安全のため、以下設置、使用、サービスについての基本的な注意事項を必ず守ってください。

使用上の注意

電源コードは、必ず本製品付属のものを使用してください、別の電源コードを使用する場合は、販売店に問い合わせるか、または国内基準を満たしている製品であるかを確認してください。電源コードに不具合がある場合は、メーカーまたは最寄のサービスセンターに連絡し、交換してください。

本機器は電源プラグを遮断装置として使用しております。設置した後、コンセントの抜き差しが問題なくできるかどうかを確認してください。

アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行って下さい。

本ディスプレイを使用するに当たっては、この取扱説明書の仕様に記載されている電源、またはディスプレイに記載されている電源を使用してください。使用している電源のタイプがわからない場合は、販売店にお問い合わせください。

一つのコンセントにその容量を超える数の電気製品を接続すると危険です、
また、傷んだコードや破損したプラグも危険です。このような電源コードは感電や火災を起こす危険性があるので、提供されている「修理に関するご案内」カードに掲載されているサービスセンターに連絡し、交換してください。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

ディスプレイは絶対に分解しないでください。
- ディスプレイの内部には手を触れないでください。
- ディスプレイの内部には、電源を切っているときでも危険な高電圧が流れています。
- ディスプレイが正常に動作しない場合は、販売店に連絡してください。

事故防止のために、以下の注意事項を守ってください。
- しっかりと固定できる場合を除き、ディスプレイは平らな場所に設置してください。
- スタンドは必ずメーカーが推奨するものをお使いください。
- 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えたりしないでください。画面に物を投げないでください。怪我、故障、破損の原因になります。

火災その他の危険を防ぐために、以下の注意事項を守ってください。
- ディスプレイを使用している部屋をしばらく空ける場合には、必ずディスプレイの電源を切ってください。決してディスプレイの電源をオンにしたまま留守にしないでください。
- ディスプレイのキャビネットの孔から中に物を落としたり押し込んだりしないでください。内部には危険な高電圧が流れている部品があります。
- このディスプレイ用に設計されている部品以外は使わないでください。
- 長期間にわたってディスプレイを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- 雷が鳴っていたり稲妻が光っている間は、電源コードや信号ケーブルには、絶対に触れないでください。感電する可能性があり、非常に危険です。

設置上の注意

電源コードの上に物を置いたり、電源コードを踏んだりしないようにしてください。
また、電源コードが破損しやすい場所にはディスプレイを設置しないでください。

浴室、洗面所、台所の流し、洗濯機のそば、プールのそばなど、湿気の多い場所ではディスプレイを使用しないでください。
ディスプレイのキャビネットには通風孔があり、使用中に発生した熱を逃がすように設計されています。この通風孔をふさぐと、熱がたまって故障したり、火災の原因となる危険性があります。以下の注意事項は必ずお守りください。

- ディスプレイをベッドやソファー、カーペットなどの上に置いて、下部の通風孔をふさがないでください。
- 適切な通風が確保できないビルトインタイプのラックには、ディスプレイを置かないでください。
- 布などで通風孔を覆ったりしないでください。
- 暖房器具や熱源の上または近くには、ディスプレイを置かないでください。

機器を水滴のかかる場所に置かないこと。
水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないこと。

アクティブマトリックスLCDを堅い物で拭いたり、叩いたりしないでください。
アクティブマトリックスLCDに傷が付いたり、破損したりする場合があります。

LCD画面に指を強く押し付けたりしないでください。残像が生じる原因になる場合があります。

画面に赤色、緑色、または青色の点が表示される場合があります。これは、ドットの欠陥によるもので、製品の性能には影響しません。

推奨する解像度をご使用になると、LCD画面は最高の画質が得られます。推奨する解像度以外をご使用になると、画像の大きさなどが調整されて表示される場合があります。これは、固定解像度のLCDパネルが持つ特性によるものです。

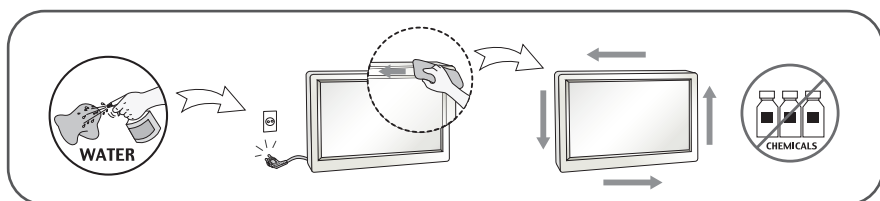
動きのない画像を長時間表示したままにすると、画面が損傷し、画像の焼き付きが生じる可能性があります。ディスプレイでは必ずスクリーンセーバーを使用してください。この現象は、他の製造元による製品でも同様に生じることがあり、製品保証の対象にはなりません。

スクリーンの前面や側面を金属で傷つけたり、衝撃を与えたりしないこと。
傷をつけたり衝撃を与えたりすると、スクリーンが破損する恐れがあります。

パネルが前向きになっていることを確認し、両手で持ちながら動かしてください。
製品を落下させると、製品が破損し、感電や火災の原因となる場合があります。
修理をご希望の場合は、正規のサービスセンターまでご連絡ください。

高温・高湿は避けてください。

お手入れのしかた

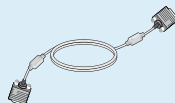
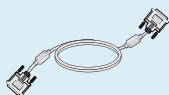
- パネル面の汚れを取るときは、ディスプレイの電源コードを抜いてください。
- ディスプレイを拭くときは、軽く湿らせた(十分に水気を切った)布で拭いてください。スプレー式の洗浄液を直接パネル面に吹きかけたりしないでください。液をかけすぎると、感電する可能性があります。
- 製品のお手入れをするときは、電源コードを抜き、傷を防ぐため、やわらかい布でふいてください。お手入れのときには、ぬれた布を使用しないでください。また、噴霧器の水または他の液体を製品に直接吹きかけないでください。 感電することがあります。（ベンゼン、ペイント用のシンナー、アルコール等の化学薬品を使用しないでください）
- 柔らかい布に水を2～4回吹き付け、フレーム前面を拭いてください。一方向のみに拭くようにしてください。水分が多すぎると、シミの原因となります。

再梱包

- 外箱と梱包材は、ディスプレイを輸送するときに必要になりますので、捨てないでください。ディスプレイを別の場所へ輸送するときには、購入時の外箱と梱包材を使用して梱包しなおしてください。

安全に廃棄するために

- 本製品を一般の家庭ゴミといっしょに廃棄しないでください。
- 本製品の廃棄は、お住まいの地域の法令に従って行ってください。

付属品

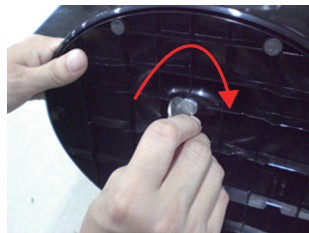
- ご購入いただいたディスプレイに、下記の付属品が含まれているか、ご確認ください。不足しているものがある場合には、販売店までご連絡ください。

注意

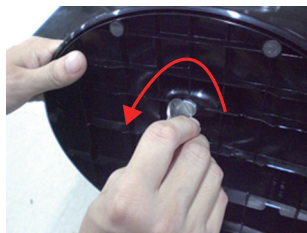
- 付属品は上図と異なる場合があります。
- ディスプレイの規格遵守には、フェライトコア付き信号インターフェースシールドケーブル（D－SUB15 ピンケーブル、DVI-Dケーブル）を使用する必要があります。

- ディスプレイを設定する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の付属装置の電源がオフになっていることを確認してください。

1. スタンドベースを使っての設置（スタンド台での設置）

1. ディスプレイの前面を下向きにしてやわらかい布の上に置きます。

2. スタンド台の背面にコインでねじを時計方向に締め付けます。

3. 取り付けたら、注意しながらディスプレイを持ち上げて表側を正面にします。

4. ディスプレイをスタンド台から取り外す場合、コインでねじを反時計方向に回します。

重要

- この図では、接続の一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイは、この図と異なる場合があります。
- 持ち運ぶ際は、ディスプレイを上下逆にしてスタンド台だけを持って運ばないようにしてください。ディスプレイが落下して破損したり、お客様の足を痛めたりする場合があります。

- ディスプレイを設定する前に、ディスプレイ、コンピューター、およびその他の付属装置の電源がオフになっていることを確認してください。

2.スタンド支柱を使っての設置（スタンド台無しの立掛け設置）

1. ディスプレイの前面を下向きにしてやわらかい布の上に置きます。

2. 図のように、スタンド支柱部のボタンを押しながら、支柱部の角度調整をして下さい。

【注意】

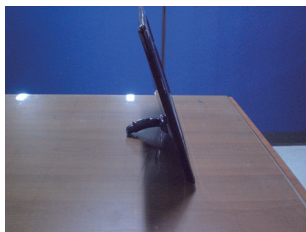
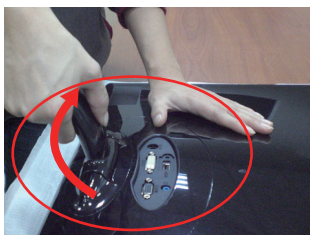
■スタンド支柱の角度調整時にボタンを押さないで、支柱を引上げると、可動途中に一定位置でロックがかかり、支柱が可動しなくなります。さらに引上げる調整をする際は、支柱部のボタンを押してロック解除してから、支柱の角度調整をして下さい。ロックが掛かった後に、ボタンを押さずに支柱に、無理な力を加えると、ヒンジ部品や本体に損傷を与える原因となります。

■スタンド支柱を最大可動域まで引上げると再度ロックが掛かり、支柱が固定され動かなくなります。支柱角度を引下げる調整をする際には、ロックボタンを押しながら、再度、ロック解除しながら、支柱を引下げるようにして下さい。

■スタンド支柱が最大角度まで引上げて、支柱が可動しなくなった時は、ロックボタンを押して、再度、最大に支柱を引上げた後、ロックを押しながら支柱を引下げると、再び支柱が可動し調整する事ができます。

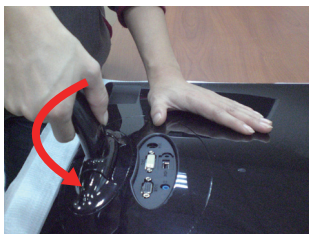
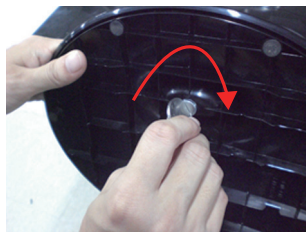
3. モニタ本体のスタンド支柱を調整した後、次のページの写真のように立掛けてモニタを設置し､液晶面を正面にします。

【注意】

■スタンド支柱の角度調整時には、ボタンを押しながら角度調整して下さい。無理に力をかけると、製品に損傷を与える原因となります。

※傾斜角度の制限やロックが掛かり
スタンド支柱が作動しない場合は、
ロックボタンを押しながら、
スタンド支柱を上下に動かして
角度調整をして下さい。

4. スタンド支柱を利用して設置の場合、スタンド支柱を下方向に角度調整します。

【注意】

■スタンド支柱を調整する際は、ボタンを押しながら角度調整を行ってください。
無理に力をかけると、製品に損傷を与える原因となります。

5. スタンド台の背面にコインでねじを時計方向に締め付けます。

6. 取り付けたら、注意しながらディスプレイを持ち上げて表側を正面にします。

重要

- この図では、接続の一般的なモデルを表しています。ご使用のディスプレイは、この図と異なる場合があります。
- 持ち運ぶ際は、ディスプレイを上下逆にしてスタンド台だけを持って運ばないようにしてください。ディスプレイが落下して破損したり、けがをする場合があります。

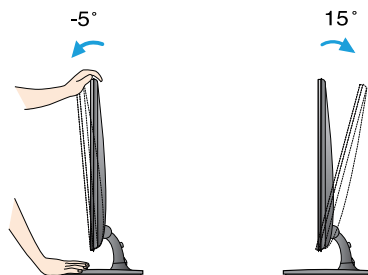
■ ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、および その他の周辺機器の電源がオフになっていることを確認して下さい。

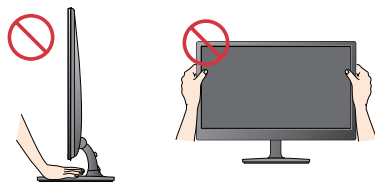
ディスプレイの設置

ディスプレイを取り付け後、下に示すように角度を調節してください。

* スタンド台付き

最も快適に使用できるようにディスプレイの位置を調節します。

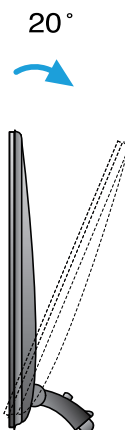
■ 傾斜角度：-5 - 15度

■ ディスプレイの角度を調整するときに、スクリーンに触れたり押したりしないでください。

■ ディスプレイの角度を調整する際には、ディスプレイの上部とスタンド本体との間に指を挟み込まないようにご注意ください。指を傷つけるなど、けがの原因となります。

人間工学上の注意

■ スタンド台付きの場合、ディスプレイの傾斜角度は - 5 - 15度ですが、人間工学的にも快適な使用のためにも、ディスプレイの傾斜角度が5度をこえないようにすることをお勧めします。

■ ディスプレイを設置する前に、ディスプレイ、コンピューター、および その他の周辺機器の電源がオフになっていることを確認して下さい。

ディスプレイの設置

* スタンド台無し

人間工学上の注意

■ スタンド台無しの場合、ディスプレイの最大傾斜角度は20度ですが、人間工学的にも快適な使用のためにも、ディスプレイの傾斜角度が10度以上になるようにすることをお勧めします。

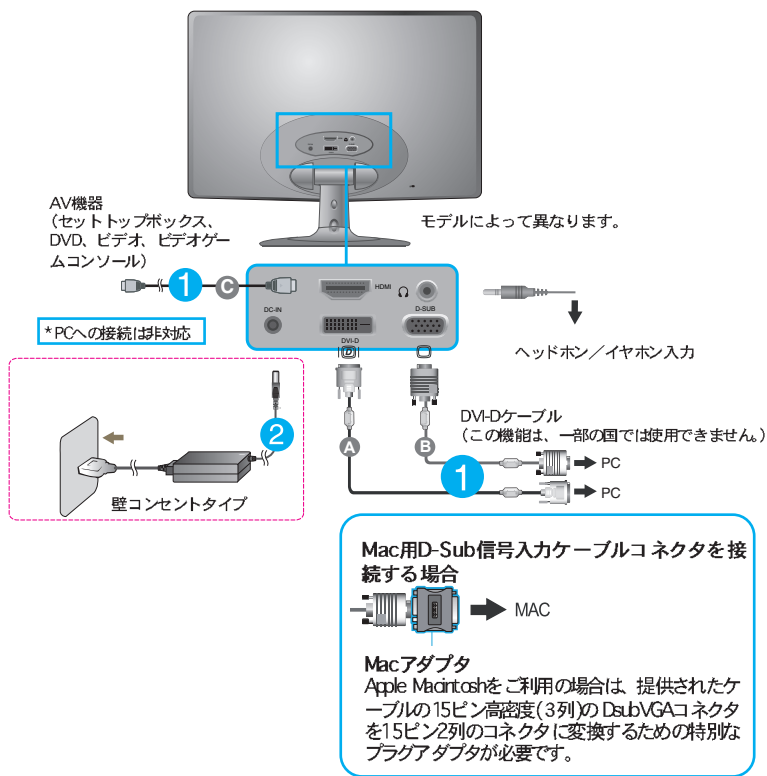
パソコン/AV機器との接続

1. ディスプレイを設定する前に、ディスプレイ、コンピューター、その他の接続機器の電源がオフになっていることを確認してください。
2. 信号ケーブル①、電源ケーブル②の順に接続し、信号ケーブルのねじを締めます(図を参照)。

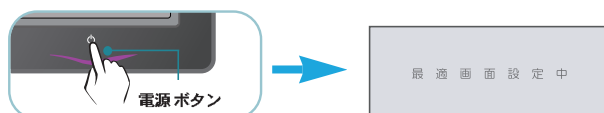
Ⓐ DVI-D（デジタル信号）ケーブルを接続
Ⓑ D-Sub（アナログ信号）ケーブルを接続
Ⓒ HDMI ケーブルを接続

Mac用D-Sub信号入力ケーブルコネクタを接続する場合

MAC

Macアダプタ
Apple Macintoshをご利用の場合は、提供されたケーブルの15ピン高密度(3列)のDsubVGAコネクタを15ピン2列のコネクタに変換するための特別なプラグアダプタが必要です。

注意
- この図は、ディスプレイの背面を簡単に表しています。
- この図は、一般的なモデルを表しており、ご使用のディスプレイとは異なる場合があります。

パソコンへの接続

3. ディスプレイの前面にあるスイッチパネルの電源ボタンを押して、電源をオンにします。ディスプレイの電源が入ると‘自動画像設定機能’が実行されます。(D - Sub入力のみ)

注意

- 「自動画像設定機能」とは？：この機能はオプションのディスプレイ設定を提供します。ディスプレイを初めて接続したときに、この機能が自動的に動作して個々の入力信号に応じた最適のオプション設定にディスプレイを調節します。
- 「AUTO機能」とは？：デバイスの使用中あるいは画面の解像度を変更後に、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりするなどの問題が生じたら、この「AUTO」ボタンを押すと解像度が改善されます。

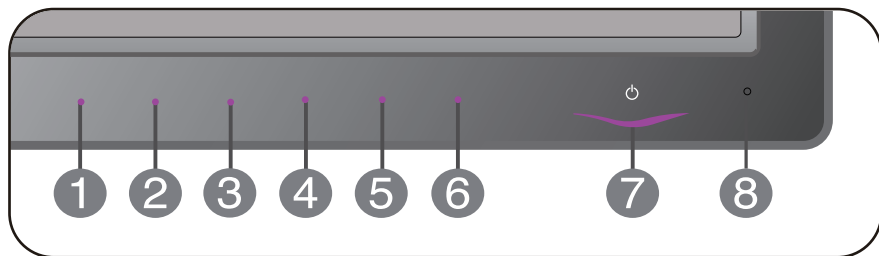
コントロールパネルの機能

フロントパネルのコントロール

❶「MENU」ボタン

OSD LOCKED

OSD UNLOCKED

＜OSDのロック／ロック解除＞

この機能により現在のコントロールの設定をロックできるため、不注意に変更してしまうことがなくなります。
MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けます。“OSDロック”(OSDがロックされています)というメッセージが表示されます。
MENU(メニュー)ボタンを数秒間押し続けると、ロックを解除できます。その際に“OSDロック解除”(OSDがアンロックされています)というメッセージが表示されます。

❷「SMART+」ボタン

[自動輝度]、[オリジナル画面比]、[デュオスクリーン]、[シネマ モード]モードに入るには、このボタンを使用します。
詳細については、20~22 ページを参照してください。

❸「*f*•ENGINE」ボタン

詳細については、23~25 ページを参照してください。

④ AUTO ボタン

＜自動画像調整＞

表示設定を調整する場合は、まず AUTO ボタンを押してから、オンスクリーンディスプレイを起動してください。(D - Sub入力のみ)
これにより、表示画像が現在の画面解像度(ディスプレイモード)に合う最適な設定に自動調整されます。

自 動 画 面 調 整 中

最良の表示モードは以下の設定です。

E2250V/E2350V/E2750V : 1920 x 1080

---

⑤ INPUT ボタン
SOURCE（ソース）
ホット・キー

このボタンで入力ソースを選択する。

二つ以上の入力信号がモニタに接続されている場合、ご希望の入力信号（D-Sub/DVI/HDMI）を選定できる。一つだけの信号が接続されている場合、自動的に検出される。初期設定値は「D-Sub」です。

---

⑥ EXIT ボタン

OSDメニューが消えます。

---

⑦ 電源ボタンと電源インジケーター

このボタンは、ディスプレイの電源のオン／オフに使用します。

電源ランプは動作中、紫色に点灯しますが、スリープモード時には点滅状態となります。

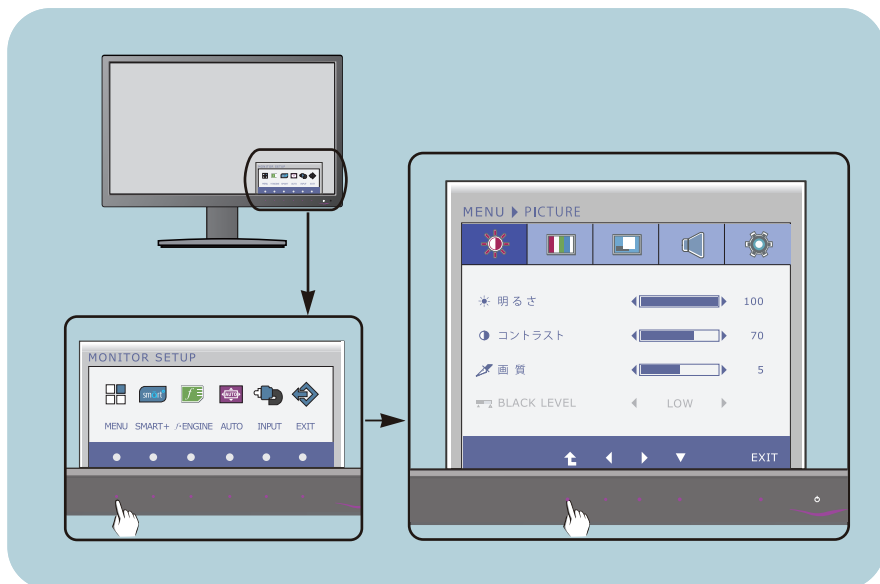
---

⑧ ライトセンサー

自動輝度がオンとなっている場合、このセンサーは外部の明るさを測定し、画面輝度を自動的に調節します。

画面の調整

ディスプレイの画像の大きさ、位置、動作パラメーターの調整は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)コントロールシステムを使用して、すばやく簡単に行うことができます。以下に各コントロールの使い方について説明します。次ページの表は、OSDを使用して実行できる選択と調整について簡単に表しています。

OSDによる調整は、次の手順で行います。

1 いずれかのボタンを押すとOSDメインメニューが表示されます。

2 対応するタッチパネルを押して調整・変更します。

3 変更するコントロールのレベル調節は ◀ ▶ ボタンを押します。他のサブメニュー項目の選択は ⮉ ボタンを押して行います。

4 EXITボタンを押すとOSD状態からメニューが消えます。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

次の表は、OSDを使用して実行できるコントロール、調整、および設定のメニューを簡単に表したものです。

DSUB ：D-Sub (アナログ信号) 入力
DVI-D ：DVI-D (デジタル信号) 入力
HDMI ：HDMI 信号

メインメニュー	サブメニュー	サポート対象の入力	説 明
PICTURE	明るさ コントラスト 画質	DSUB DVI-D HDMI	画面の明るさ、コントラスト、シャープネスを調整します
	BLACK LEVEL	HDMI	
カラー	色温度 (プリセット / ユーザー)	DSUB DVI-D HDMI	画面の色を調整します
	GAMMA		
表示	水平 垂直	DSUB	画面の位置を調整します
	周波数 フェーズ	DSUB	周波数、画面の鮮明度と画質を調整します
	OVERSCAN	HDMI	
ボリューム		HDMI	ボリュームを調整します
その他	言語 > 日本語 電源インジケーター ボタンインジケーター	DSUB DVI-D HDMI	使用環境による映像条件を調整します
	ホワイト バランス	DSUB	
	リセット	DSUB DVI-D HDMI	
SMART+	自動輝度 オリジナル画面比	DSUB DVI-D HDMI	画像の大きさを調整します
	デュアルウェブモード シネマ モード	DSUB DVI-D	
F-ENGINE	NORMAL ムービー インターネット	DSUB DVI-D	ユーザーの操作環境に合わせてイメージ設定を選択またはカスタマイズします
	標準 ムービー ゲーム スポーツ	HDMI	

注意

- アイコンの順序は、モデルによって異なります(15～25ページ)。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

■■■ OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。

「MENU」ボタンを押すと、下記のようにOSD画面が表示されます。

メニュー名

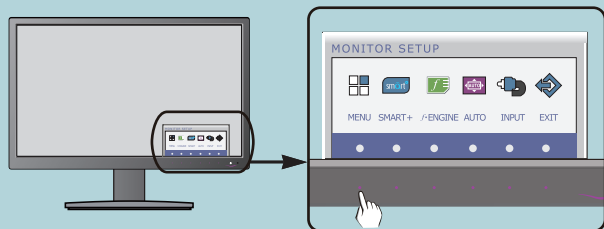
MENU ▶ PICTURE

アイコン

明るさ 100

コントラスト 70

画質 5

BLACK LEVEL LOW

サブメニュー

EXIT

ボタンの説明

- EXIT ： 終了
- ◀ ▶ ： 調節(減少/増加)
- ▼ ： 他のサブメニュー選択
- ⬑ ： サブメニューの選択に戻します

注意

■ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

メインメニュー	サブメニュー	説　明

PICTURE

- Exit : 終了
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- ⮤ : サブメニューの選択に戻します

サブメニュー	説明
明るさ	画面の明るさを調整します。
コントラスト	画面のコントラストを調整します。
画　質	画面の鮮明度を調整します。
BLACK LEVEL	オフセットの水準を設定します。｢高｣を選択すると画面が明るくなり、｢低｣を選択すると画面は暗くなります。(HDMI入力のみ) *オフセットとは？映像信号の基準で、ディスプレイが表示できる最も暗い画面です。

カラー

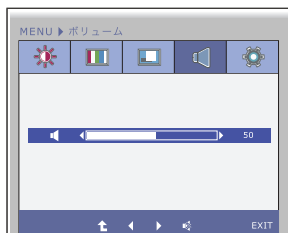
- Exit : 終了
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- ⮤ : サブメニューの選択に戻します

色温度

サブメニュー	説明
プリセット	画面の色を選択します。 ・sRGB : 画面の色をsRGB標準色規格に合わせるように設定します。 ・6500K～7500K : 赤色系画面 ・8500K～9300K : 青色系画面
ユーザー	■ 赤 個別に赤色レベルを設定します。 ■ 緑 個別に緑色レベルを設定します。 ■ 青 個別に青色レベルを設定します。
GAMMA	0/1/2でガンマ値を調整します。ディスプレイの表示画像は、高ガンマ値に設定すると薄く、低ガンマ値に設定すると濃くなります。

メインメニュー	サブメニュー	説 明
表 示	水 平	画像を左右に移動させせます。
	垂 直	画像を上下に移動させせます。
	周 波 数	画面のバックグラウンドに表示できるすべての垂直バーまたは垂直ストライプを最小化します。水平画面のサイズも変更されます。
	フェーズ	画面の焦点を調整します。この機能は、水平ノイズを取り除いて、文字画像を鮮明にします。
	OVERSCAN	HDMI入力でDTVタイミングの出力画像範囲を選択します。(HDMI入力のみ) AV機器を接続する際にはオーバースキャン機能を推奨します。

- Exit : 終了
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- ▼ : 他のサブメニュー選択
- ⮅ : サブメニューの選択に戻します

メインメニュー	サブメニュー	説 明
ボリューム	ボリューム	ヘッドホン/イヤホンのボリュームを調整します。(HDMI入力のみ)

- Exit : 終了
- ◀ : 減少
- ▶ : 増加
- 🔇 : ミュート
- ⮅ : サブメニューの選択に戻します

メインメニュー	サブメニュー	説 明

その他

- Exit：終了
- ◀：減少
- ▶：増加
- ▼：他のサブメニュー選択
- ⮤：サブメニューの選択に戻します

言語　コントロール名を表示する言語を選択します。

電源インジケーター　この機能は、ディスプレイの前面にある電源インジケーターのオン、オフを切り換えます。
オフに設定すると、15秒後に電源が切れます。オンに設定すると、電源インジケーターはいつでもすぐにオンになります。

ボタンインジケーター　この機能は、ディスプレイ前面のコントロールキーをオン、オフに切り替えます。
オフにすると、コントロールキーがオフになります。
オンにすると、コントロールキーがオンになります。

ホワイトバランス　ビデオ・カード出力が本製品の仕様と異なる場合、ビデオ信号に歪みが生じてカラー・レベルが低下する可能性があります。この機能を用いると、ビデオ・カードが標準出力レベルに合うように信号レベルが調節され、最適画像が得られます。
スクリーンに白色や黒色が出る場合は、この機能を動作させてください。

リセット　工場出荷時の設定にすべて戻します。
すぐにリセットするには、◀,▶ ボタンを押します。（「言語」は除く）

注意

■ この操作でスクリーンの画像の状態が改善しないときは、工場出荷時の初期設定に戻してください。必要に応じて、ホワイトバランス機能を再度実行してください。入力信号がD-Sub入力のときのみ、この機能が有効になります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

■■■ OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。

「SMART+」ボタンを押すと、下記のようにOSD画面が 表示されます。

メニュー名

SMART+ ▶ 自動輝度

アイコン

サブメニュー

オン

オフ

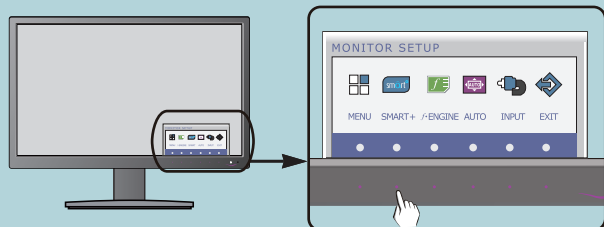
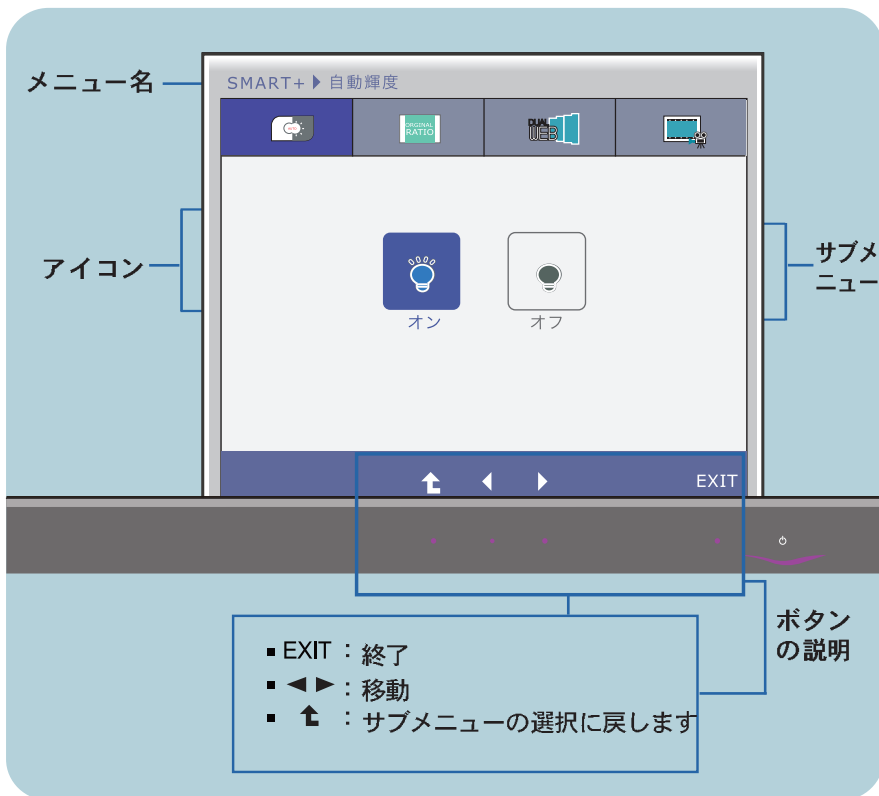
EXIT

ボタンの説明

- EXIT ： 終了
- ◀ ▶ ： 移動
- ⮅ ： サブメニューの選択に戻します

注意

■ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

メインメニュー	サブメニュー	説　明

SMART+

自動輝度

画面輝度を自動的に制御します。オンに設定すると、周囲の明るさに応じて画面輝度を自動調整し、最適な明るさになります。オフにすると自動調整しません。

オリジナル画面比

画像は入力解像度をひきのばして表示されます。

* この機能はインプット解像度がアスペクト比（16:9）より低い時に使用できます。

メインメニュー	サブメニュー	説　明

* 下記の機能を利用するには、予め「Easy Set Package」というプログラムをインストールして下さい。

SMART+

デュアルウェブ

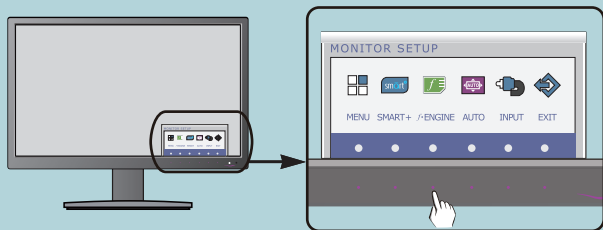
- デスクトップに表示されているウィンドウを二画面に分けて表示します。また、左右の表示領域の大きさや、左右画面の入れ替えなども、タスクバーに作成されるアイコンからマウスで操作できます。

シネマ モード

- ユーザーが選択した動画のみ明るくし、それ以外を暗くすることで、動画を観やすくする機能です。

- Exit : 終了
- ◀ ▶ : 移動
- ⮅ : サブメニューの選択に戻します

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

■■■ OSDによる選択と調整の手順について説明します。前ページの表に示した各項目のメニュー名、アイコンは次の図のように表示されます。

「f•ENGINE」ボタンを押すと、下記のようにOSD画面が表示されます。

メニュー名

f•ENGINE

アイコン

NORMAL

ムービー

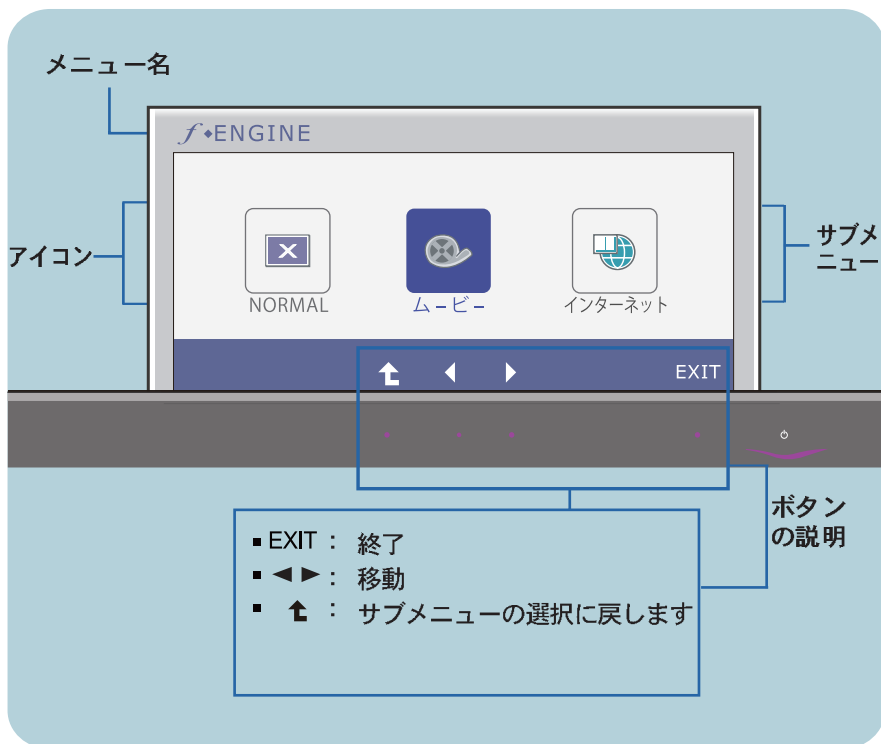
インターネット

サブメニュー

EXIT

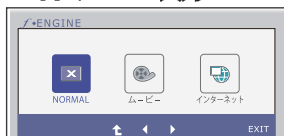
ボタンの説明

- EXIT ： 終了
- ◀ ▶ ： 移動
- ⮅ ： サブメニューの選択に戻します

注意

■ディスプレイ上に表示されるOSDメニューの言語は、本ユーザーズガイドの表記と異なることがあります。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)による選択と調整

メインメニュー	サブメニュー	説　明

f• **ENGINE**

D-SUB/DVI-D 入力

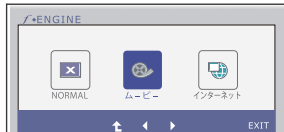
NORMAL

一般的な使用環境で選択してください。

HDMI 入力

標準

入力する元の標準映像として使用したい時に選択してください。
*標準モードは*f*• ENGINE がオフになったモードです。

D-SUB/DVI-D 入力

ムービー

ビデオや映画など、動画を見る時に選択してください。

HDMI 入力

HDMI 入力時にはゲームモード、スポーツモードが選択できます。
※他の入力時には選択できません。

- Exit : 終了
- ◀ ▶ : 移動
- ⮤ : サブメニューの選択に戻します

メインメニュー	サブメニュー	説　明

f・ENGINE

D-SUB/DVI-D 入力

インターネット

インターネットや文書作業（Wordなど）時に選択してください。

HDMI 入力

ゲーム

長時間、ゲームをする時に選択してください。

HDMI 入力

スポーツ

スポーツの映像を見る時に選択してください。

- Exit : 終了
- ◀ ▶ : 移動
- ⮉ : サブメニューの選択に戻します

トラブルシューティング

サービスセンターに連絡する前に、次のことを確認してください。

画像が表示されない。

● ディスプレイの電源コードが接続されていますか。	・電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうか確認してください。
● 電源インジケーターが点灯していますか。	・電源ボタンを押してください。
● 電源インジケーターが点灯していますか。	・ディスプレイが節電モードになっている場合は、マウスを動かすか、またはキーボードのいずれかのキーを押して画面を起動してください。 ・コンピューターの電源をオンにしてください。
● 画面に“範囲超過”というメッセージが表示されていませんか。	・このメッセージは、コンピューター(ビデオカード)からの信号がディスプレイの水平または垂直の周波数レンジを超えた場合に表示されます。本ユーザーズガイドの「仕様」(27～28ページ)を参照し、ディスプレイを設定し直してください。
● 画面に“チェックシグナルケーブル”と表示されていませんか。	・このメッセージは、コンピューターとディスプレイ間の信号ケーブルが接続されていない場合に表示されます。信号ケーブルが正しく接続されているかを確認して、もう一度試してください。

画面に“OSDロック”というメッセージが表示される。

● MENUボタンを押すと、“OSDロック”というメッセージが表示されますか。	・“OSDロック”がかかっているときは、不注意で各種設定を変更してしまわないよう、MENUボタンなどが操作できない状態になっています。 MENUボタンを数秒間押し続けるとロックを解除でき、“ロック解除”というメッセージが表示されます。

表示画像が正しくない（1）	
● 画像の表示位置が正しくない。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「水平位置」のアイコンや「垂直位置」のアイコンを使用して、画像位置を調整します。
● 画面のバックグラウンドに垂直バーや垂直ストライプが表示される。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「周波数」アイコンを使用して、垂直バーや垂直ストライプを小さくします。
● 画像や文字中に現れる水平ノイズが鮮明に表示されない。	・AUTOボタンを押して、表示画像を最適な設定に自動調整してください。調整がうまくいかない場合は、オンスクリーンディスプレイ(OSD)にある「フェーズ」アイコンを使用して、水平バーを小さくします。 ・コントロールパネル → 画面 → 設定でディスプレイが推奨されている解像度に設定され、画面が適切に表示されていることを確認してください。色の設定は、24ビット(True Color)以上にしてください。

重要

- コントロールパネル → 画面 → 設定で周波数と解像度が変更されていないか確認してください。変更されている場合、ビデオカードを推奨されている解像度に設定し直してください。
- 推奨されている解像度(最適な解像度)が選択されていないと、画面や文字がぼやけたり、画面がちらついたり、歪んだりすることがあります。推奨されている解像度が選択されていることを確認してください。
- 設定方法は、コンピューターやOS(オペレーティングシステム)によって異なることがあります。また、推奨解像度はビデオカードによってはサポートされていないことがあります。このような場合は、コンピューターまたはビデオカードの製造元にお問い合わせください。

表示画像が正しくない（2）

● 画面の色が白黒または正常ではない。	・信号ケーブルが正しく接続され、しっかりとねじで固定されているかどうか確認してください。 ・ビデオカードがスロットに正しく装着されているか確認してください。 ・画面の設定で、色を24ビット(True Color)以上に設定してください。
● 画面が点滅する。	・画面がインターレースモードに設定されているかどうか確認してください。その場合、推奨されている解像度に設定し直してください。

“ディスプレイを認識できません。Plug&Play（VESA DDC）ディスプレイが検出されました”というメッセージが表示されていませんか。

● ディスプレイのドライバをインストールしていますか。	・付属のディスプレイドライバCD(またはフロッピーディスク)からディスプレイのドライバをインストールしてください。 またWebサイト http://www.lg.com からドライバをダウンロードすることもできます。 ・ビデオカードがプラグ＆プレイ機能をサポートしているか確認してください。

音声機能が動作しない

● 映像は正常だが音が出ない。	・音量が「0」になっていないか確認してください。 ・音声がミュートになっていないか確認してください。 ・HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・ヘッドホンケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ・音声形式を確認してください。圧縮形式の音声でないことを確認してください。

ディスプレイ	54.6 cm(21.5 インチ)フラットパネルアクティブマトリックスーTFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ: 54.6 cm 0.248 x 0.248 mm(ドットピッチ)
同期信号入力	水平周波数　30 kHz−83 kHz (自動) 垂直周波数　アナログ,デジタル: 56 Hz - 75 Hz (自動) HDMI: 56 Hz - 61 Hz (自動) 入力形態　セパレート同期 デジタル
ビデオ入力	信号入力　15ピンD−Subコネクタ DVI - D コネクタ (デジタル) 19ピンHDMIコネクタ 入力形態　アナログ (0.7Vp-p/75オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX　VESA 1920 x 1080 @60Hz 推奨　VESA 1920 x 1080 @60Hz
プラグ＆プレイ	DDC 2B(アナログ,デジタル,HDMI)
消費電力	オンモード　:　23 W(標準値) スリープモード　≦　1 W オフモード　≦　0.5 W
外形寸法	スタンドを含む: 幅 52.58 cm (20.70 インチ)、高さ 40.83 cm (16.07 インチ)、奥行 19.80 cm (7.80インチ) スタンドを含まず: 52.58 cm (20.70 インチ)、33.48 cm (13.18 インチ)、3.99 cm (1.57 インチ) 質量　2.8 kg (6.17 ポンド)
動作範囲	傾斜角度　-5 - 15 度　※スタンド台使用時
入力電源	12 V ⎓ 3.0 A
AC-DCアダプター	FSP036-DGAA1，FSP Group製造 或はLCAP07F，Lien Chang Electronic製造
環境条件	作業条件 温度　10 ℃〜35 ℃ 湿度　10 %〜80 % (無結露) 保管条件 温度　-20 ℃〜60 ℃ 湿度　5 %〜90 % (無結露)
スタンド・ベース	独立
電源コード	壁コンセントタイプ

注意

■ 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ディスプレイ	58.4 cm(23.0 インチ)フラットパネルアクティブマトリックス–TFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ : 58.4 cm 0.265 x 0.265 mm (ドットピッチ)	
同期信号入力	水平周波数 垂直周波数 入力形態	30 kHz – 83 kHz (自動) アナログ,デジタル: 56 Hz - 75 Hz (自動) HDMI: 56 Hz - 61 Hz (自動) セパレート同期 デジタル
ビデオ入力	信号入力 入力形態	15ピンD–Subコネクタ DVI - D コネクタ (デジタル) 19ピンHDMIコネクタ アナログ (0.7 Vp-p/75オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX 推奨	VESA 1920 × 1080 @60Hz VESA 1920 × 1080 @60Hz
プラグ&プレイ	DDC 2B(アナログ,デジタル,HDMI)	
消費電力	オンモード スリープモード オフモード	: 28 W(標準値) ≦ 1 W ≦ 0.5 W
外形寸法	 幅 高さ 奥行 質量	スタンドを含む: 55.98 cm (22.04 インチ) / 42.81 cm (16.85 インチ) / 19.80 cm (7.80 インチ) スタンドを含まず: 55.98 cm (22.04 インチ) / 35.45 cm (13.96 インチ) / 3.99 cm (1.57 インチ) 3.3 kg (7.28 ポンド)
動作範囲	傾斜角度	-5 - 15 度 ※スタンド台使用時
入力電源	12 V ⎓ 3.0 A	
AC-DCアダプター	FSP036-DGAA1, FSP Group製造 或はLCAP07F, Lien Chang Electronic製造	
環境条件	作業条件 温度 湿度 保管条件 温度 湿度	 10 ℃~35 ℃ 10 %~80 % (無結露) -20 ℃~60 ℃ 5 %~90 % (無結露)
スタンド・ベース	独立	
電源コード	壁コンセントタイプ	

注意
■ 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ディスプレイ	68.6 cm(27.0 インチ)フラットパネルアクティブマトリックスーTFT LCD Anti-glareコーティング 表示可能対角線サイズ: 68.6 cm 0.3114 x 0.3114 mm(ドットピッチ)
同期信号入力	水平周波数 30 kHz－83 kHz (自動) 垂直周波数 アナログ,デジタル: 56 Hz - 75 Hz (自動) HDMI: 56 Hz - 61 Hz (自動) 入力形態 セパレート同期 デジタル
ビデオ入力	信号入力 15ピンD－Subコネクタ DVI - D コネクタ (デジタル) 19ピンHDMIコネクタ 入力形態 アナログ (0.7Vp-p/75オーム)、デジタル、HDMI
解像度	MAX VESA 1920 x 1080 @60Hz 推奨 VESA 1920 x 1080 @60Hz
プラグ＆プレイ	DDC 2AB(アナログ),DDC 2B(デジタル,HDMI)
消費電力	オンモード : 39 W(標準値) スリープモード ≦ 1 W オフモード ≦ 0.5 W
外形寸法	スタンドを含む / スタンドを含まず 幅 65.20 cm (25.67 インチ) / 65.20 cm (25.67 インチ) 高さ 49.59 cm (19.52 インチ) / 40.96 cm (16.13 インチ) 奥行 23.20 cm (9.13インチ) / 4.11 cm (1.62 インチ) 質量 5.2 kg (11.46 ポンド)
動作範囲	傾斜角度 -5 - 15 度 ※スタンド台使用時
入力電源	19 V ⎓ 3.0 A
AC-DCアダプター	PA-1650-68, LITEON TECHNOLOGY CORP製造
環境条件	作業条件 温度 10 ℃~35 ℃ 湿度 10 %~80 % (無結露) 保管条件 温度 -20 ℃~60 ℃ 湿度 5 %~90 % (無結露)
スタンド・ベース	独立
電源コード	壁コンセントタイプ

注意

■ 本ユーザーズガイドの情報は、予告なしに変更することがあります。

ＰＣ入力プリセットモード(解像度)

■ DSUB/DVI タイミング

ディスプレイモード(解像度)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	720 x 400	31,468	70
2	640 x 480	31,469	60
3	640 x 480	37,500	75
4	800 x 600	37,879	60
5	800 x 600	46,875	75
6	1024 x 768	48,363	60
7	1024 x 768	60,123	75
8	1152 x 864	67,500	75
9	1280 x 1024	63,981	60
10	1280 x 1024	79,976	75
11	1680 x 1050	65,290	60
*12	1920 x 1080	67,500	60

*モード:推奨モード

■ HDMI タイミング

ディスプレイモード(解像度)		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	480P	31.50	60
2	576P	31.25	50
3	720P	37.50	50
4	720P	45.00	60
5	1080i	28.12	50
6	1080i	33.75	60
7	1080P	56.25	50
8	1080P	67.50	60

電源インジケーター

モード	ＬＥＤ色
オンモード	紫色
スリープモード	紫色で点滅
オフモード	オフ